

第8回王寺駅周辺再整備推進会議を開催しました（令和5年1月20日）

王寺町では平成30年5月に策定した「王寺駅周辺地区まちづくり基本構想」に基づき、まずは駅北エリアの検討を進めてきました。第8回からは駅南エリアの検討を進めていきます。

新たに、地元住民の方々を含む委員を加えて、多様な視点からの意見を反映させながら進めていきたいと考えています。

令和5年1月20日に第8回王寺駅周辺再整備推進会議を開催し、意見交換を行いました。開会に先立ち、平井町長は、短期的あるいは長期的な課題の解決や将来においてどのような機能があることが望ましいのか等を多角的な視点から、意見を出していただき、大きな方向づけをして頂きたいと述べました。



挨拶をする平井町長

テーマ 「王寺駅周辺地区（駅南エリア）」のまちづくりについて

事務局から、駅南側エリアの現状と課題等について説明した後、駅南エリアのまちづくりについて、参加者に意見を求めました。

主な意見

<駅前広場について>

- 西和地域の玄関口となる王寺駅の駅前広場は拠点としての整備が必要である。それに加えて、病院の建設により、さらに様々な機能が必要になると思うので、本当に何が必要であるのかの見極めが非常に重要になると思う。

<交通機能・整備について>

- 王寺駅は利用者が多く、現在はバス、タクシー、自家用車、自転車、歩行者が輻湊している為、公共交通と一般交通を分離し、ターミナルの安全性の向上させることが重要。
- 病院の建設も考慮した、快適かつ人の集まる魅力のある歩行者動線の確保が重要。

<土地利用について>

- 地元住民は、王寺西公園周辺からの王寺駅までの動線や、病院建設に係る騒音等を気にしており、そういった課題を解決できるような計画となればよいと思う。
- 人口の流入を見ても、ベッドタウンとしての機能を果たしている。そのため、人が住みよい環境を提供するということを念頭において、まちづくりをしていけば町がより元気になると思う。
- 駅前の価値を維持するにはどうしたら良いかというのが重要なテーマになる。
- 王寺駅南側地区の特徴である15歳～19歳の昼間人口の多さを生かしながら検討していくことが重要である。

<民間活力について>

- 民間活力を活用する際は、民間に任せきりではなく、行政機関やこの会議体である程度の道標を示していかなければならないと思う。

これまでの取組及び今後のプロセス

奈良県とまちづくりに関する包括協定締結
(平成28年)

王寺駅周辺地区まちづくり基本構想策定
(平成30年)

王寺駅周辺地区（駅北エリア）
まちづくり基本計画策定
(令和4年)

駅南エリアの検討

王寺駅周辺再整備推進会議
(令和2年～)

<検討項目（予定）>

- 駅南エリアのまちづくりの方向性
- 駅前広場の整備、交通結節点としてのあり方、民間活力の導入等
- 事業手法、事業スケジュール等

（仮）南駅前地区分科会（令和5年～）

王寺駅周辺地区まちづくり基本計画策定